

通常時

1. 現状

- 1 Fにのみ受付があり、外部委託のスタッフが2名常駐し来庁者の訪問先等の案内をしている。
- 2 Fのモルール側入口にはカウンターが設置されているが、現在は使用していない。
- 総合案内の横に、各課が冊子・パンフレットを配架している。

2. 新庁舎において備えるべき機能／配置の考え方

- 障害の有無、年齢、性別、言語等にかかわらず、多様な来庁者に対して適切に庁舎案内を果たせる機能。
- 車やモルールなどのアクセス方法にかかわらず、適切に庁舎案内を果たせるよう、各エントランスからの視認性に配慮した配置。
-

3. 将来の活用イメージ

-
-
-

〈イメージ写真〉



○大きな吹抜けに隣接し、視認性に優れた総合案内



○経験豊富な職員がコンシェルジュとして案内をおこなう



○エントランスに近接した総合案内



○タッチパネル等による案内誘導

非常時

1. 現状

—

2. 新庁舎において備えるべき機能

- 災害発生時においても、一時避難者の誘導や情報提供ができる機能。

3. 将来の活用イメージ

—

〈利用イメージ〉



○大型タブレットモニターに表示された防災情報を提供する空間

【市民センター】

通常時

1. 現状

- 中央コミュニティセンターの2Fに配置されている。
- 同一建物内に入国管理局があり、外国人の方も利用。

2. 新庁舎において備えるべき機能／配置の考え方

- 車やモルレルなどの交通手段にかかわらず迷うことなくアクセスでき、目的のサービスがスムーズに受けられる配置。
- 多様な来庁者に対し、円滑で効率的にサービスの提供できる機能。
-

3. 将来の活用イメージ

- 総合案内の代替として庁舎のコンシェルジュとしての役割を担う機能。
- ICTの活用などにより、待つことなく滞在時間を極力短くできる機能。
-

〈イメージ写真〉



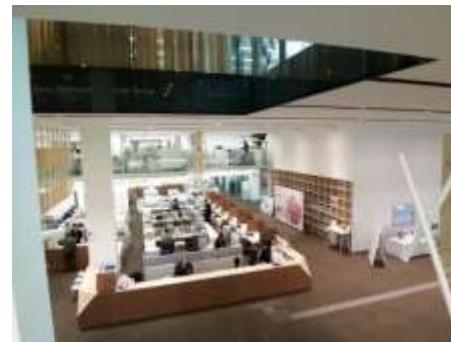
○モニターや画面タッチの発券機が設置された、利用しやすい窓口スペース



○エントランスに近接して配置させた市民センター



○吹抜けに隣接した快適な待合スペース



○コンパクトな窓口スペース

非常時

1. 現状

—

2. 新庁舎において備えるべき機能

—

3. 将来の活用イメージ

—

〈イメージ写真〉

通常時

1. 現状

- 中央コミュニティセンターの2Fに配置されている。
- 市の発行する刊行物の閲覧やコピーサービス、有償刊行物の販売など行っている。
- 公文書開示制度や個人情報保護制度の総合的な窓口にもなっている。

2. 新庁舎において備えるべき機能／配置の考え方

-
-
-

3. 将来の活用イメージ

-
-
-

〈イメージ写真〉



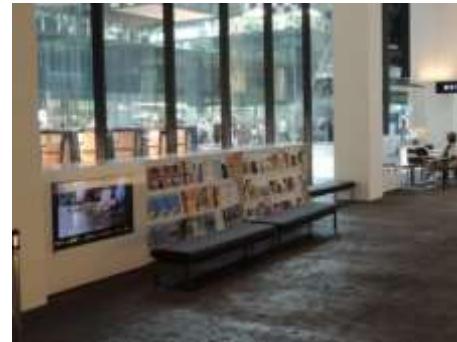
○市政情報に関する書籍の販売、情報検索スペースとして利用



○市政情報及び、地域情報の展示コーナー



○各種パンフレットの閲覧スペース



○周辺地域の観光案内

非常時

1. 現状

—

2. 新庁舎において備えるべき機能

—

3. 将来の活用イメージ

—

〈利用イメージ〉

○掲示板やモニターによる市民への情報提供

【レストラン】

通常時

1. 現状

- 本庁舎の地下に配置されており、庁外からの視認性が低い。
- 利用可能時間は、11:00～14:00の間のみ。

2. 新庁舎において備えるべき機能／配置の考え方

- 外部からの視認性が高く、職員や来庁者のみならず、周辺の企業・団体等や住民が気軽にアクセスして利用できる機能。
- 食堂機能のほか、軽食や待ち合わせ、打合せなど多目的に活用できる機能。
- プロムナードやみなと公園などの周辺エリアとの関係性に寄与できる機能。

3. 将来の活用イメージ

-
-
-

〈イメージ写真〉



○眺望の良さを売りにしたレストラン



○地元の有機野菜を使用したレストラン兼カフェ



○集会スペースとして使用可能なレストラン



非常時

1. 現状

—

2. 新庁舎において備えるべき機能

- 発災時には速やかに来庁者を一時避難者スペースへ誘導し、応急・復旧時には災害対応のための会議利用にスムーズに移行できる機能。

3. 将来の活用イメージ

- 復旧時において、泊まり込みで対応する職員等が調理や飲食するスペースとして活用できる機能。

〈イメージ写真〉



○災害時の炊き出し用スペース

通常時

1. 現状

- かつては塔屋にある展望スペースの一角に喫茶機能が存在していたが、現在は使用されていない。
- 中央コミュニティセンターの2Fに喫茶店があり、本庁舎への来庁者も利用している。

2. 新庁舎において備えるべき機能／配置の考え方

- 外部からの視認性が高く、職員や来庁者のみならず、周辺の企業・団体等や住民が気軽にアクセスして利用できる機能。
- 軽食や休憩、打合せなど多目的に活用可能な機能。
- プロムナードやみなと公園などの周辺エリアとの関係性に寄与できる機能。

3. 将来の活用イメージ

-
-
-

〈イメージ写真〉



○エントランスロビー脇に設けられ、気軽に利用できるよう配慮されている



○福祉系団体が営業しているカフェ



○地元の有機野菜を使用したレストラン兼カフェ



○タニタが運営するカフェ



○足湯等でリラックスしながら楽しめるカフェ

非常時

1. 現状

—

2. 新庁舎において備えるべき機能

—

3. 将来の活用イメージ

—

〈イメージ写真〉

通常時

1. 現状

- 本庁舎の地下に配置されており、庁外からの視認性が低い。
- 営業は平日の7:00～19:00の間。

2. 新庁舎において備えるべき機能／配置の考え方

- 外部からの視認性が高く、職員や来庁者のみならず、周辺の企業・団体等や住民が気軽にアクセスして利用できる機能。
- 市民の利便性や職員の機能性に配慮した機能。
- プロムナードやみなと公園などの周辺エリアとの関係性に寄与できる機能。

3. 将来の活用イメージ

-
-
-

〈イメージ写真〉



○ロビー脇に設けられた売店



○地域の物産品の販売も実施している



○大手コンビニチェーンが入居している



○地元食材のカフェと地元の工芸物品を販売する店舗が併設している

非常時

1. 現状

—

2. 新庁舎において備えるべき機能

—

3. 将来の活用イメージ

- 応急・復旧時において、災害対策にあたる職員等のために店頭商品や在庫を提供できるよう、市の防災備蓄庫の一端としてスムーズに活用できる機能。

〈イメージ写真〉

通常時

1. 現状

- ポスターやパネルの展示や献血等のスペースとして利用。
- 地元プロスポーツ選手等の来賓へのセレモニー等の場としても利用。

2. 新庁舎において備えるべき機能／配置の考え方

- ロビーのオープンスペースを活用し、セミナー・イベント等の活動を通じた積極的な情報収集・発信を担う機能。
- 来庁者・職員など、利用者の特性に配慮した機能。

3. 将来の活用イメージ

- 周辺の企業・団体等と連携した、多様な利用形態による、情報収集・発信のスペースとして活用できる機能。
- プロムナードやみなと公園など、外部に向けて情報を発信する機能。
- 将来の行政の役割の変化にも対応できるよう、建物の様々な利用形態に対応することができる機能。

〈イメージ写真〉



○用事の無い人も気軽に立ち寄れるスペース



○大きな吹抜けを設け、気持ちの良い空間



○企業の製品展示スペースとしての利用



○建物内外とも一体的に活用が可能なように計画された空間

非常時

1. 現状

- 一般執務室との動線分離が確立していないため、一時避難者を受け入れた場合のセキュリティ確保が困難。

2. 新庁舎において備えるべき機能

- 災害発生時には速やかに来庁者の安全とセキュリティを確保し、スムーズに一時避難のためのスペースとして活用できる機能。

3. 将来の活用イメージ

- 応急・復旧時には、周辺の企業・団体等と連携した活動や荷捌きスペースとして、スムーズに移行できる機能。

〈利用イメージ〉



○災害対策部門やボランティアの受け入れ



○災害時の利用イメージ